



アクシス耐震スリット

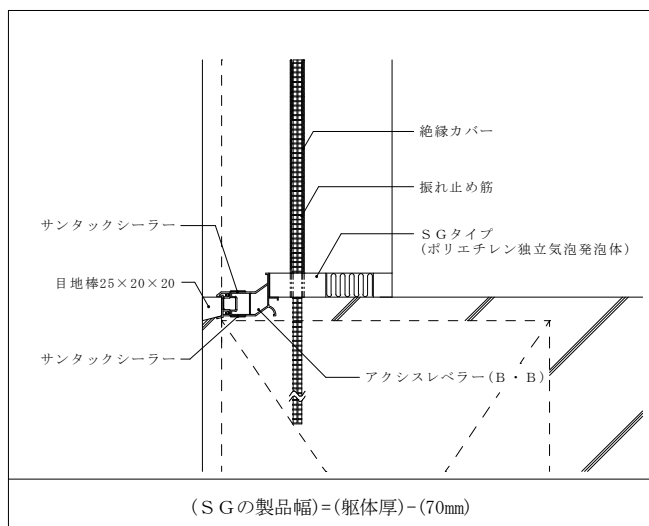
水平スリット施工マニュアル

アクシスレベラー タイプ
耐火・サンタックシーラー付 仕様

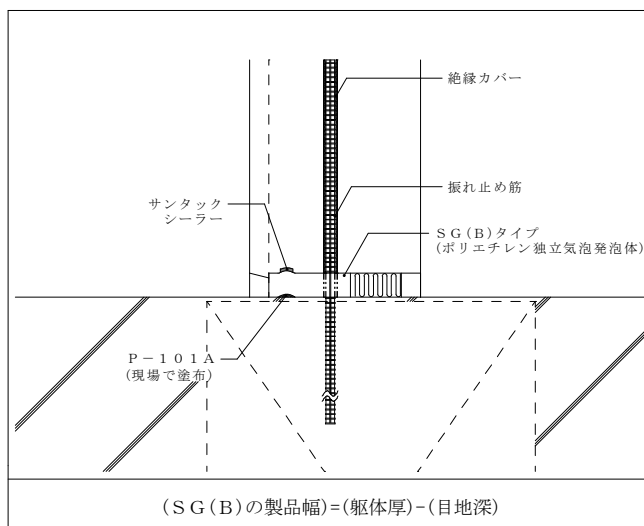
水平スリット 製品規格

型式 品種・寸法 (mm)			
厚み	製品幅	定尺	左記以外の厚み、または製品幅をご希望の場合はご相談下さい。
15・20・25・30 35・40・45・50	80～500	L-2, 025 (M)	

■妻側完全水平スリット (アクシスレバラー (B・B))



■完全水平スリット



■水膨張性一液弾性シーラント P-101A

	主成分
	ウレタンプレポリマー
<p>打継部の止水に対して、上部生コンクリートと接する部分は、サンタックシーラーで一体化を図り、下部の打継面は不陸がある為、液状の水膨張性一液弾性シーラントの低膨張タイプ P-101A を充填すると、コーキングが切れた際の止水対策として有効です。</p>	

妻側完全水平スリット 段差タイプ (アクシスレベラー(B・B)) の場合

1 振れ止め筋は、設計図書通りに取り付けて下さい。

R-1

200

200

100

無頭釘 L-58

R-2

勘合部分

R-1

R-2

目地棒とアクシスレベラー・R-1を無頭釘で100以降200ピッチ程度で、型枠に固定して下さい。また、端部で上記のピッチ数が確保できない場合は、端部から100ピッチ以内で型枠に固定して下さい。

※納品時、目地棒・R-1・無頭釘はセットされています。

R-2の下端のりけい紙を剥がして、R-1にR-2を差し込みます。
※上端のりけい紙は、この時点では剥がさないで下さい。

2 コンクリートを打設し、型枠を解体する際 無頭釘と目地棒を外して下さい。

振れ止め筋

《コンクリート打設時の注意》
ジャンカを防ぐ為、外部側からハンマーで型枠を打つ際、その衝撃によりアクシスレベラーが浮き上がる危険性があります。型枠を打った後は、必ずご確認下さい。

3 振れ止め筋が位置する箇所に切り込みを入れて下さい。

外部側

内部側

壁厚マイナス70mmした水平スリットを設置して下さい。

上階の型枠を設置します。

振れ止め筋

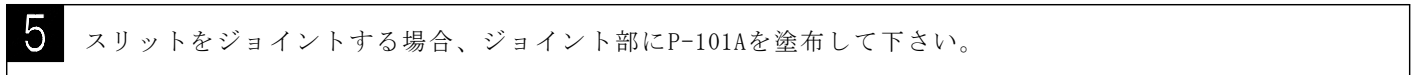
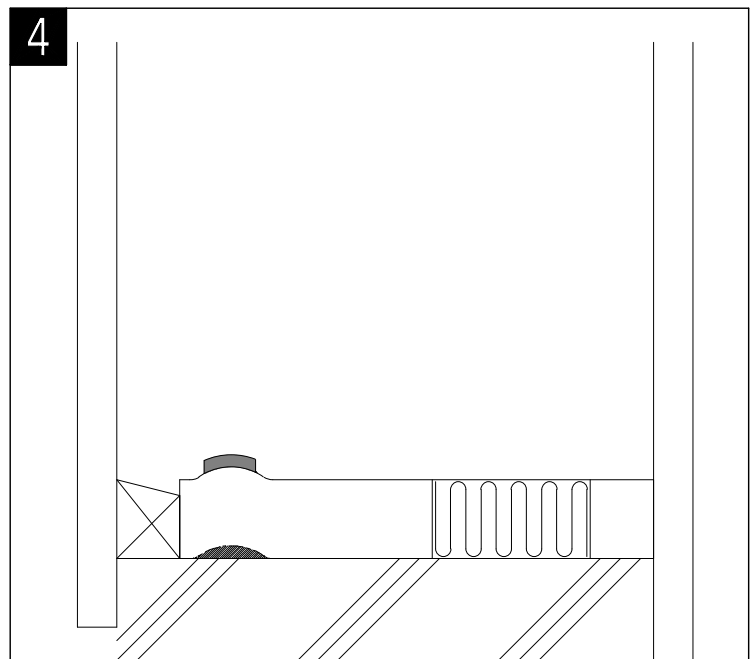
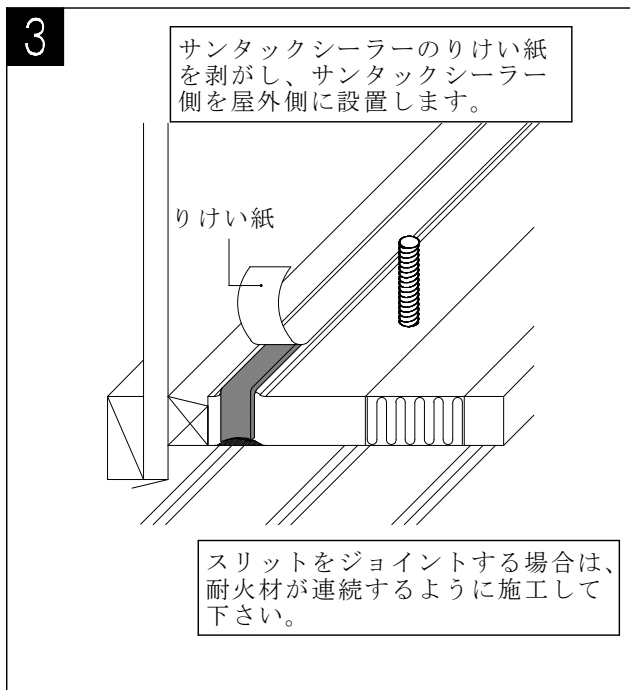
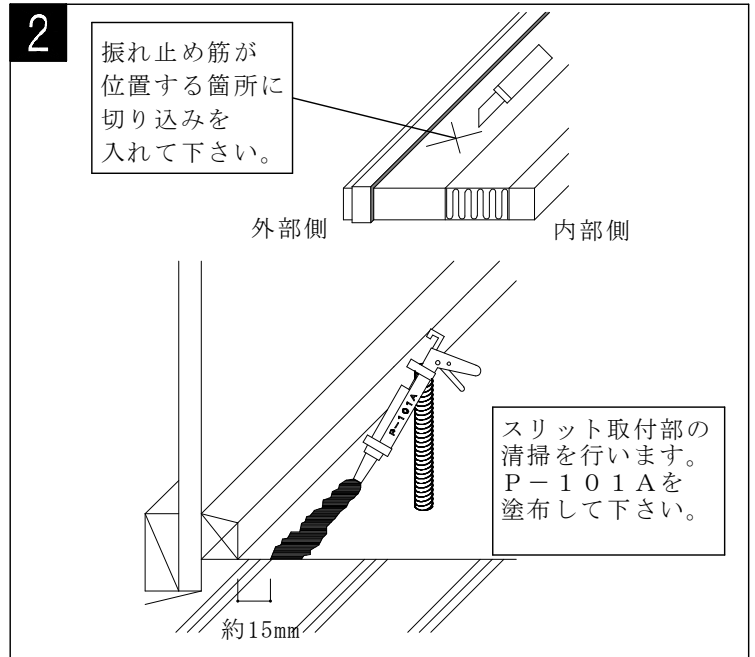
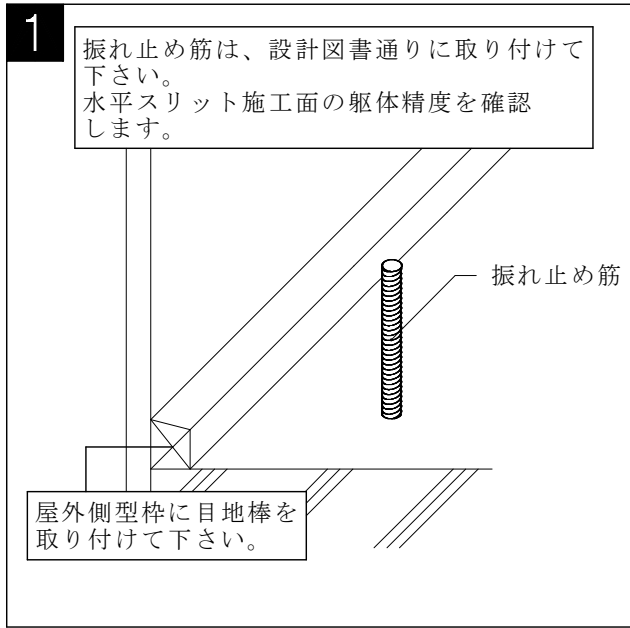
4 建て込み直前に、上端のりけい紙を剥がして下さい。

りけい紙

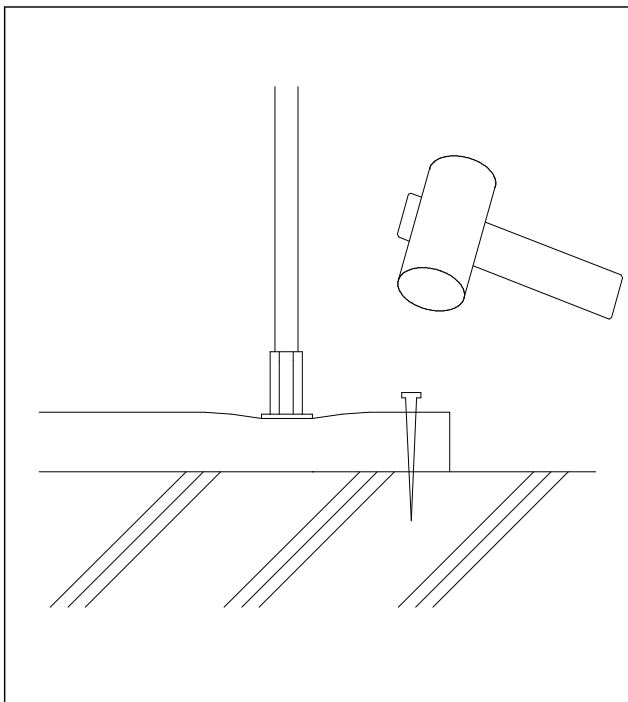
建て込み直前に、上端のりけい紙を剥がして下さい。

5

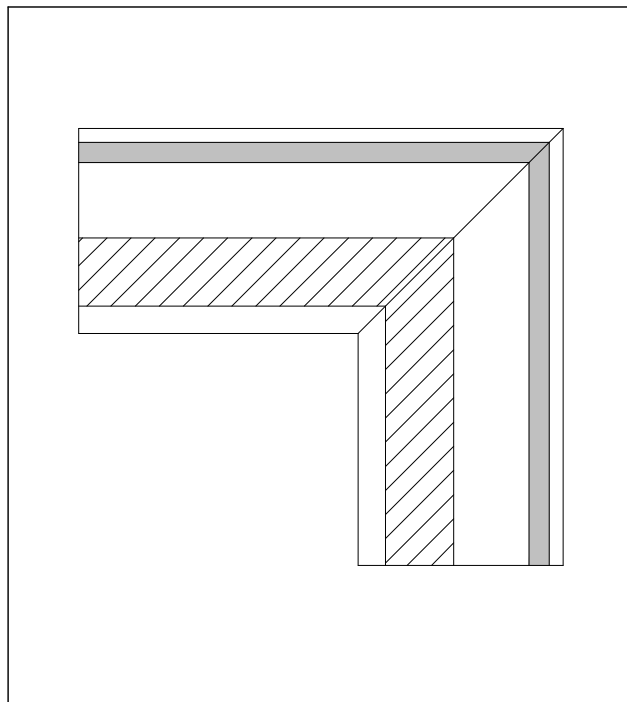
完全水平スリット



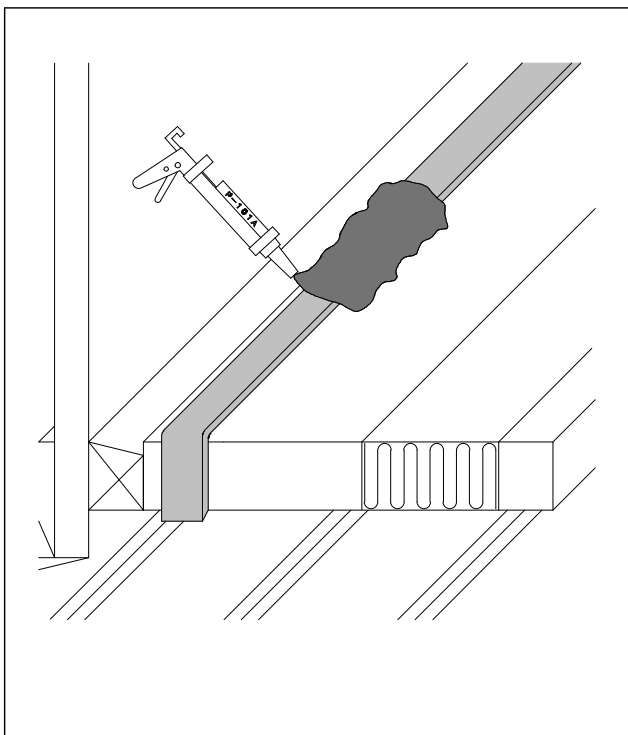
● 標準施工例 ●



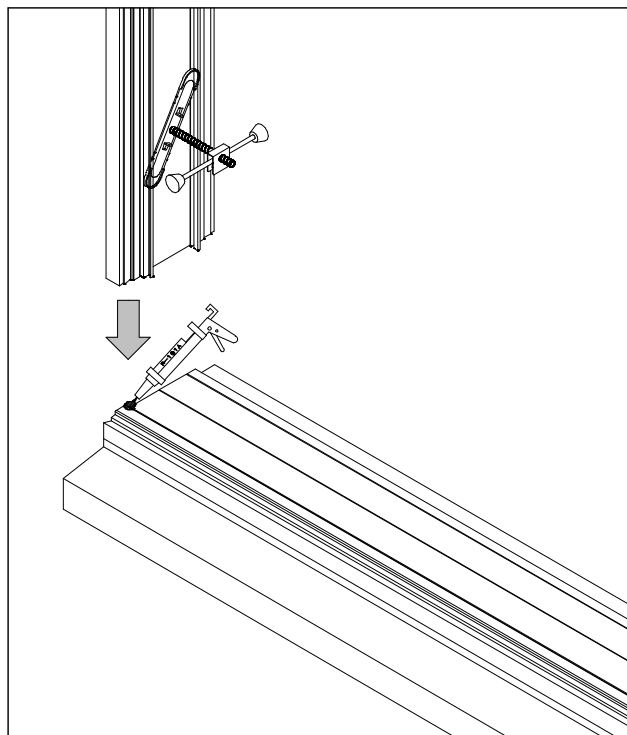
壁配筋の過重により、水平スリットの端部が反り上がってしまわない様、コンクリートに釘で固定して下さい。



耐火材、サンタックシーラーが不連続になる場合は、水平スリットを斜めにカットし、耐火材、サンタックシーラーを連結させて下さい。



サンタックシーラーが剥がれてしまった場合は、P-101Aを充填して下さい。



水平スリットの上に必ず垂直スリットをセットし、小口部分にはP-101Aを充填して下さい。